

国際交流合宿報告集

2011年7月 富士河口湖畔



目次

はじめに、合宿の概要、活動内容	1
参加者名簿	5
各班の活動	
1 班 世界の恋愛事情	7
2 班 世界の美味しい食べ物	10
3 班 世界のお化け	17
4 班 夏休みの節電	20
5 班 世界の音楽	21
6 班 世界の昔話	26
アンケート集計結果	38

● はじめに

国際交流合宿は、本年度で、3回目となる。今回の参加者は、日本を除いて17ヶ国・地域からの参加で、文字通り、国際交流にふさわしい合宿となった。日本語があまり得意ではない参加者のために、英語班を作ったのも初めての試みであった。富士山西湖・河口湖周辺での野外活動や宿舎での交流活動、発表会などで、日本人学生と留学生相互の積極的な交流が図られた。スタッフ12人が、合宿の準備や運営に尽力してくれたことに感謝したい。いろいろ反省すべき点もあるが、留学生センターの国際交流活動の行事として、来年以降も引き続き継続していければと思う。

留学生センター 岡 智之

● 合宿の概要

日時：2011年7月16日（土）～17日（日）

場所：山梨県富士河口湖町（桜荘）0555-72-0587

参加者：日本人学生16名（男3、女13）、留学生31名（男10、女21）、学生計47名
（男13、女34）、引率教員2

● 活動内容

1日目

8時 大学正門前集合、出発。

バス内活動として、自己紹介やゲームが行われた。

12時 富士河口湖到着一昼食
（ほうとう不動南店）

到着はだいたい定刻通りで、昼食にほうとうをおいしく頂いた。コンゴの学生がバスに乗り遅れて、自分でバスに乗って河口湖まで来たのをバスで拾った。



13時～ ネイチャーガイドツアー 西湖コウモリ穴（1時間コース）

西湖コウモリ穴で、班ごとに分かれ、富士山の成り立ちを学んだ後、コウモリ穴に入り、見学。ひんやりした狭い空間で冒険気分になった。樹海にも入り、自然を満喫した。



14 時～ 西湖いやしの里根場 (1 時間)

いやしの里前で記念撮影。日本の古い民家や自然があふれるいやしの里で日本情緒を堪能。忍者や武士の格好、着物を着せてくれるコーナーが人気だった。



16 時 宿舎チェックイン。

16 時～18 時 班ごとに発表準備の活動をおこなう。

18 時 夕食

19 時 花火・湖畔散策。10 分ほど歩いたところにある八木崎公園で花火と湖畔散策を行う。



20 時 交流会。合気道やダンスなどの出し物、またゲームなどを楽しんだ。伝言ゲームが盛り上がった。





23時 自由・就寝

2日目 17日(日)

8時 朝食

9時 朝の体操(気功&太極拳)・チェックアウト

10時 全体会(各班の発表1班15分、質疑応答5分、班ごとの報告参照)

12時 昼食

13時 宿舍出発一途中、忍野八海観光(1時間程度)

20時 大学到着。帰りは渋滞に遭い、予定より2時間程度遅れた。到着後、スタッフで後片付けと反省会(うちあげ)を行った。

● 反省点

- ・ 帰りの到着が渋滞で遅れたことは、前回からの問題だったが、これを予想してもう少し早めに戻ることを次回で考えたい。
- ・ 西湖での野外活動の時間が少しずつずれこんで宿舍への到着が予定より遅れてしまった。もっと余裕のあるスケジュールにすべきだろう。
- ・ 英語班を作ったが、日本語が得意でない留学生同士がかたまってしまい、日本人学生との交流がお互い不十分になってしまった。また、発表時は、英語から日本語の通訳が一部の学生に偏ってしまい、過重な負担になってしまった。英語を使うグループとの交流については今後色々配慮や工夫が必要であろう。

● 参加者名簿

日本人学生 16 名（男 3、女 13）、留学生 31 名（男 10、女 21）、計 47 名（男 13、女 34）。

名前	国	性別	身分・専攻	班分け	役割
藩蓉(はん・よう)	中国	女	研究生	食べ物	
童琳(どう・りん)	中国	女	交換	音楽	
ダニエル・ウィー・ティオンジン	マレーシア	男	院生	昔話	
李秀隣(い・すりん)	韓国	女	学部生	音楽	
李允貞(い・ゆんじょん)	韓国	女	学部生	節電	スタッフ
林璟筠(りん・ちんゆん)	台湾	女	学部生	食べ物	
朴驍銀(ぱく・ひょうん)	韓国	女	ISEP	お化け	スタッフ
ディアナ・シュテファーンコバー	スロバキア	女	日研生	お化け	
王墨(おう・すみ)	中国	女	学部生	食べ物	スタッフ
ヘレナ・ミルイェヴィッチ	クロアチア	女	教研生	昔話	
ジュキチ・ヴァネッサ	ボスニア・ヘルツェゴビナ	女	教研生	昔話	
ドルデウィック・トミスラバ	セルビア	女	教研生	昔話	
梁晋暉(りょう・しんき)	中国	男	ISEP	食べ物	
リーラスパサグル・ジェッサダー	タイ	男	交換	お化け	スタッフ
黄王京(こう・けい)	中国	女	交換	恋愛	
鄭嘉覧(じょん・がらむ)	韓国	女	交換	恋愛	
孫用直(そん・よんじっく)	韓国	男	交換	節電	スタッフ
パトリック・ベフフマ・モコンドコ	コンゴ	男	研究生	伝説	たいこ
劉敏麗(りゅう・びんれい)	マレーシア	女	学部生	音楽	
白ソラ(ぺく・そら)	韓国	女	交換	食べ物	スタッフ
ル・チャン・ミャオ	シンガポール	女	教研生	恋愛	
高侖(こう・りん)	中国	男	教研生	昔話	スタッフ
姚豊(よう・ほう)	中国	男	院生	節電	
カレン・ゴンサレス	メキシコ	女	教研生	昔話	ダンス
ヴィオレッタ・テノリオ	ペルー	女	教研生	昔話	
イエスパー・リュセル	スウェーデン	男	日研生	お化け	
許鳳霞(きょ・ほうか)	中国	女	研究生	音楽	
リンチ・マイケル	アメリカ	男	交換	昔話	合気道
マ・ペルペツア・ソコロ・ジャドック	フィリピン	女	教研生	昔話	
陳イセン	台湾	女	交換	食べ物	
オリビエ・ベルベノワット	フランス	男	交換	恋愛	

佐藤雄太(さとう・ゆうた)	日本	男	国際教育2	節電	スタッフ
間島菜月(ましま・なつき)	日本	女	生涯学習3	節電	スタッフ
山本優衣(やまもと・ゆい)	日本	女	美術3	お化け	スタッフ
上田あすか(うえだ・あすか)	日本	女	日教2	節電	
今橋美紅(いまはし・みく)	日本	女	欧米研究2	お化け	
速水結(はやみず・ゆい)	日本	女	欧米研究2	お化け	
池田恵子(いけだ・けいこ)	日本	女	アジア研1	食べ物	
石塚綾子(いしづか・あやこ)	日本	女	アジア研1	食べ物	
櫻田奈都子(さくらだ・なつこ)	日本	女	アジア研1	恋愛	
末武るり(すえたけ・るり)	日本	女	アジア研1	音楽	
菊池夏世(きくち・なつよ)	日本	女	日教2	恋愛	スタッフ
松本数馬(まつもと・かずま)	日本	男	情報教育4	恋愛	
三家本真由(みかもと・まゆ)	日本	女	日教2	恋愛	スタッフ
山本美帆(やまもと・みほ)	日本	女	日教1	お化け	
小池和裕(こいけ・かずひろ)	日本	男	欧米研究3	昔話	
中島由賀(なかじま・ゆか)	日本	女	国際教育1	お化け	
有澤知乃	日本	女	教員		引率
岡 智之	日本	男	教員		引率代 表

● 各班の活動

1 班 世界の恋愛事情

参加者：三家本真由、菊池夏世、桜田奈都子、松本数馬、黄ケイ(中国)、鄭ガラム(韓国)
ミャオ(シンガポール) オリビエ(フランス)



私たち 1 班は、『世界の恋愛事情』について話し合いました。

日本・他アジア(中国・韓国・シンガポール)・フランスで、どのような恋愛の形があるのか、まとめました。

【日本】

- ・女の子から告白することはアリ
⇒最近の日本では、草食系男子(恋愛に消極的な男の子)が多い
草食系の反対で、肉食系(恋愛に積極的)という言葉が使われている
- ・カップルでいると、たとえ友達だとしても近づかない
⇒二人きりでご飯を食べていたら友達が近寄らない
⇒邪魔をしないように気を遣ってしまう
- ・学校(大学)内でカップルをあまり見かけない
⇒学校でカップルが一緒にご飯を食べることはほとんどない
⇒学校に二人でいることがあまりない

- ・学校で恋人同士アピールをしない
- ・仲良しグループ内のカップルが多い
⇒学科内、サークル内など
- ・恋人と友達と一緒に(同時に)会うことはしない
⇒『恋人はデート、友達は遊び』と、区別している

【他アジア】

- ・女の子から告白することはない
⇒告白の仕方も、ロマンチック
中国(上海)では、告白する時は友達が協力してくれる(ロマンチックな設定を考える)
例：キャンドルをハート型になるように並べて、その中で告白
- ・100日記念日など、記念日を大切にする
⇒イベント企画運営の会社がある(韓国)
- ・プロポーズ①「一緒に家を買おう」(シンガポール)
プロポーズ②(一緒に住む家の)カギを渡す(中国)
⇒カギを渡すことで、結婚できるほどの力(経済力など…)があるよアピール
- ・結婚するまで同棲はしない
⇒女性の価値が下がってしまう、軽い人(女性)だと思われる

【フランス】

- ・恋愛に関してすごくオープン
⇒恋人とどこでも一緒にいるのは当たり前
⇒道・学内でのキスも普通
⇒別れたあとも、きまずいとかは気にしない
- ・交際の始まり方
⇒キスから始まる交際も…!

【まとめ】

日本：恥ずかしがり屋

⇒恋愛に消極的な草食系が多い

恋人同士アピールをしない

カップル内に友人が入れない

など、否定的な部分が多い。

他アジア(中国・韓国・シンガポール)：ロマンチック

⇒告白やプロポーズの仕方が特徴的。

イベント会社(韓国)があるということは、記念日などの節目を大切にしている傾向がある。

フランス：大胆

⇒アジアに比べ、恋愛に関してオープンな部分が多い。

五カ国だけでの話し合いでしたが、こんなにも多くの考え方の違いや恋愛の形の違いがあるということを発見できました。普段、このように外国の方たちと恋愛についてお話することがないので、すごく面白かったです。また機会があれば、他の国の方とも恋愛の考え方などの話をしてみたいと思いました。

(文責：三家本真由)



2班 世界の美味しい食べ物

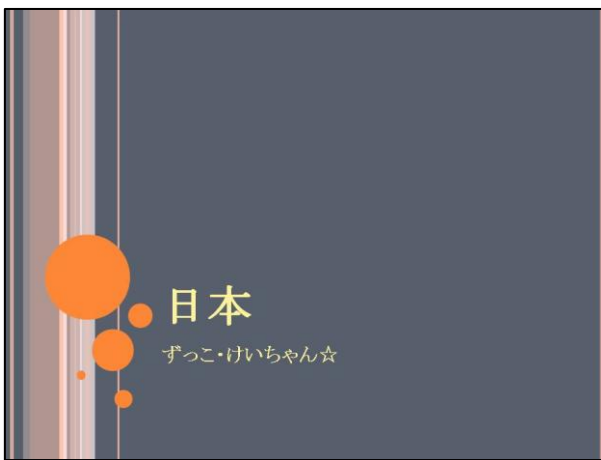
メンバー：石塚綾子・藩蓉（中国）・林チンユン（台湾）・王墨（中国）・梁シンキ（香港）・池田恵子・白ソラ（韓国）



私たちは合宿前、出発前のオリエンテーションで、初めて知り合いました。当日、みんなは真面目に討論して、自分の意見と考えちゃんと言いました。

第一回目討論の内容について、みんなご挨拶して、自己紹介しました。発表の内容に関して、みんなは三つぐらいで自分の国の食べ物を調べます。種類は拉麺、餃子です。国によって、食べ物の名前は同じだと、味とか料理方法とか全然同じではありませんので、食べ物を比べて、同じ点と違うところを紹介します。でも、この方向は短い時間でできなかつたので、最後の発表の内容は方向と内容は変わりました。

私達の発表はスライドを作って、たくさん映像をつけて、みんなの目を集まるの目標です。内容は自分の国で好きな料理三つを選んで、みんなを紹介します。



はじめは日本から紹介しました。



お好み焼き

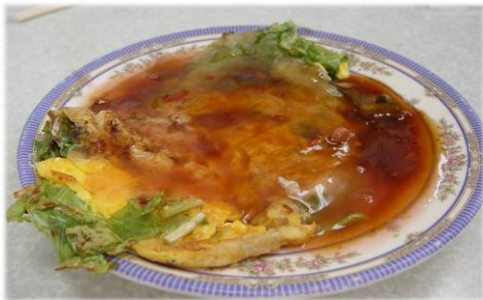


石塚さんと池田さんふたりはとても日本風のとべものお寿司、味噌汁、お好み焼きが好きです。三つの食べ物食べ方と作る方を紹介しました。

台湾 ひかり☆

次は台湾の食べ物を紹介しました。

蚵仔煎



マンゴー氷





林さんは台湾で大人気の食べ物に自分が一番好きな料理を紹介しました。



次は中国の食べ物を紹介しました。



水餃子



藩さんと王さんは小籠包、牛肉ラーメン、水餃子が好きです。中国はとても大きな地域ので、北地方と南地方料理の方法も違うところがあります。二人はその違う点を皆さんに説明しました。

韓国

そら☆

次は韓国の食べ物を紹介しました。

プルコギ



トッポッキ



キムチチゲ



ソラさんは自分が好きな料理を紹介して、作り方も皆さんに教えてしました。

香港

りょうちゃん☆☆

最後は香港の食べ物を紹介しました。

臭豆腐



チャーシュー飯



梁さんは好きな料理は臭豆腐とチャーシュー飯です。梁さんはこの二つの料理はととても有

名でおいしいですから、絶対皆さんに紹介したいですと言いました。

今回合宿発表の感想について、

【石塚さん】

いろんな国のおもしろい食べ物を、その国の人たちから教えてもらえてすごく楽しかったし勉強にもなりました。発表を通してみんなと仲良くなれてうれしかったです。

【ソラさん】

今回の発表で色々な国の人に出会い、お互いに疎通することができた。自分の国の文化と他の国の文化について分かり合えたと思う。最初は初めての人もたくさんいたので心配もあったが、一緒に活動しながら少しずつ彼らを理解し、仲良くなった。他の国の文化も興味深い、私の国の文化について皆が興味を持って知りたいと思うことが更に印象的だった。韓国の文化がそんなに日本人にも他の国の人にも興味深く認識されていたことは本当に驚きだった。過去より韓国についての興味も高くなったって、前とは違う雰囲気だった。最近は色々な国と接することができるので他の国の文化について興味を持つ人が増えているかも知れないと思った。大変だと思ったときもあったが、発表が終わったときは甲斐を感じた。様々な国の文化について分かり、大切な思い出ができたからだ。またこのような機会があったらいいと思います。

3班 世界のお化け

ジェイ（リーダー、タイ）、今橋美紅、速水結、山本美帆、山本優衣、中島由賀、朴ヒョウン（韓国）



日本のお化け

傘小僧

- ・古い傘(ふるいかさ)が変化(へんか)したもの
- ・一本脚(いっぽんあし)でとびはねて移動(いどう)する
- ・くらくらするとでてきて、あかい舌(した)でおどかす
- ・とくにわるさはしない

トイレの花子さん

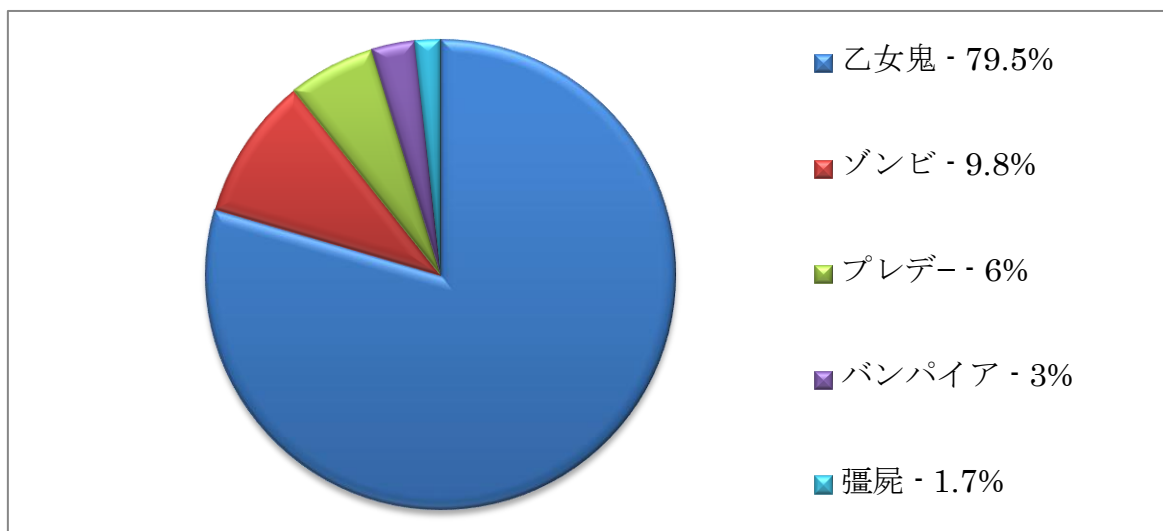
- ・学校(がっこう)のトイレの3番目にすんでいる
- ・ドアを3回ノックするとでてくる
- ・「あそぼう」とはなしかけると、トイレにひきこまれる

座敷童子

- ・よいおばけ（小さな女の子）
- ・座敷童がいると、そのいえにすむ人はしあわせになれる
- ・部屋のすみにいる
- ・たまにイタズラをする

韓国のお化け

韓国人が一番恐ろしがる鬼は？



乙女鬼

- ◎ 未婚女性
- ◎ 白い喪服
- ◎ 黒くて長い髪
- ◎ 白い顔
- ◎ 体から青い光
- ◎ 恨 - 主人公(能力者)の前に現われ恨みを晴らしてくれることを頼んだり、恨みがある人をいじめる

タイのお化け

プラカノーンのメー・ナーク

話の舞台はチャクリー王朝初期である。主人公のナークは村長の娘で、恋人のマークは貧しくも働き者の男で、村長の庭師として働いていた。二人の恋は夜の営みを行うまでになったが、そのことを聞いた村長は娘を庭師から遠ざけるようになり、金持ちの中国人と娘の縁談を進めた。それを知ったナークは家出をしてマークと結婚した。その後ナークは妊娠するが、時を同じくしてマークは徴兵される事となり村から出る事となった。その後、親友のトゥイと老夫婦のター・ミー（ミーじ いさん）とヤー・マー（マーばあさん）にナークの面倒を見せる事となった。その間、ナークが産気づいたが、ター・ミーとヤー・マーの助産もむなしく、難産でおなかの子共々死亡した。ピー・プラーイになるのをおそれ、ター・ミーとヤー・マーはナークを手厚く葬った。

一方、兵役中のマークは戦場の駐屯地で夫への愛情と未練からピー・プラーイとなったナークとその赤ん坊と出会う。マークはナークに家を空けて来たことを叱った後、家族と一緒に夜を過ごしたが、朝になるとナークと赤ん坊は消えていた。それから長からずの時を経て兵役を終了したが、かえってトゥイと話したところ「ナークは死んだ」という。マークは「ナークと戦場で会っている」と主張して口論になった。

マークとトゥイがマークの家に行くとなんか何事もなかったかのようにナークは家で仕事をしている。マークはトゥイから「あれはピーで、のろい殺される」と忠告を受けたが、それを聞いたナークは反対に「トゥイは私とマークの間を割こうとしている」としてやり返した。その後、しばらくナークとマークは一緒に過ごしていたが、ある日マークはナークが臼と杵で唐辛子を砕いているときに落ちた杵と取るために、尋常の人間ではできないほど長く手を伸ばし、縁側に腰掛けたまま杵を取り上げたのを見てびっくりし、ワット・マハーブットという寺院のお堂に駆け込み僧に助けを求めたが、僧達は経を唱えるのが精一杯で何もできずにいた。その間にもナークはどんどん凶暴になっていき、近いた人を手当たり次第呪い殺していった。その時、どこからともなくネーン・チウ（チウ少年僧）と呼ばれる高德で靈感の高い少年僧が現れ、ナークを退治した。その骨は骨壺に収められ運河に投げ捨てられた。

ターニー女

ターニーはバナナの木のお化けです。その木は特別な姿であり、葉が粘りくっついて、長くて、緑の色である。この特別なことから昔の人はバナナの木のお化けがいるかもしれないと信じていました。でも実はバナナの木が成長早くて、大きい木だから、家のところに植えないように幽霊の事を作ったかもしれません。

ガラスー

このお化けは女に取り付く。昼は普通の女の姿だが、夜になると、頭と身体の器官だけ出ます。心臓がキラキラ光って、牛やアヒルや鶏の内臓を食べるのが好きです。

ガラスーの事は人々に怖がります。ガラスーを払うことが難しいですので、退治の人は呪文したナイフでその人とガラスーの霊と一緒に殺します。

4 班 夏休みの節電

1. 節電班のメンバー

イ・ユンジョン（韓国）、ソン・ヨンジク（韓国）、ヨウ・ホウ（中国）、上田あすか、佐藤雄太、間島菜月（リーダー）

2. テーマ

「今年の夏の節電対策」

3. テーマ設定理由

今年発生した、東日本大震災によって今年の夏は例年以上に節電が呼び掛けられている。そこで、なぜこのような状況に陥ったのかを踏まえて、私たちにできる節電対策を考えたい。また、それぞれが行っている節電対策を皆に紹介したい。

4. 私たちにできること

- 炊飯器を使う時に一回に数食分を炊いてしまおう!!
- 朝 4 時に起きて、活動しよう。ちなみに、就寝は 12 時。
- パソコンでテレビを見よう。
- 部屋に大量の冷や水を置く!! 外には打ち水をする
- 熱湯の余熱で調理時間を短縮しよう。
- 図書館などで勉強する。
- LEDに変えよう!
- コンセントをこまめに抜こう!
- 設定温度を 1 度上げると 7%の節電に!!!

5. まとめ

発表では、「必要なものは必要な時にだけ使うなど、みんながこまめに気をつければ、普通の生活はできる。」と締めくくった。

私たちは、時間がない中、合宿前に一度集まって、打ち合わせをした。それによって、各自の分担ができた。また、この発表の準備を通して、他の人がどのように節電に取り組んでいるのか知ることができた。今まで知らなかった節電方法もあり、とても面白いと感じた。最後に、発表を見た人には、この発表を節電について考えるきっかけとして、節電に取り組んでくれたら嬉しい。

N 類生涯学習専攻 3 年 間島菜月



5 班 世界の音楽

メンバー：童琳（中国）許鳳霞（中国）劉敏麗（マレーシア）末武るり（日本）
李秀隣（韓国）イエスパー・リュセル（スウェーデン）

1. はじめに

お互いの個性を認め合い、自らの文化についても理解を深めるために、世界の音楽を通じて、隣人の文化を知ることは非常に有効です。

歌というのは音楽の中でもっとも身近にあるものです。私たちは体の中に楽器を一つ持って生まれてきますが、この声という楽器を有効に使って歌と親しくなることで、人生を豊かなものにできるのではないかと思います。声を使って、人間は自分の考え、気持ち、感覚を伝えあってきました。人間の声は、ことばの基本でもあり、音楽の基本でもあります。すばらしい声は、それだけで人々を感動や興奮に誘うものです。しかし、「すばらしい声」の基準は決して一通りではありません。世界の多様な歌声に耳を傾けてみましょう。

2. グループでの話し合いの様子

言葉には様々な種類の言語があり、知らない言語との会話は理解できない。しかし音楽が「世界共通語」ではないかと私たちそういう風に考え始めた。

いろいろなジャンルの歌を歌ってゆきますが、あまり技術・技巧にこだわらないで、それぞれのジャンルの歌い方を楽しみながら、歌っている内容を理解してほしいと思います。

3. 発表内容

a. 中国音楽代表作 「小背簍」

母の日を祝う曲、美しい高音で観客を魅了する。

中国の民族音楽の代表作。歌のテーマは背負いかごという意味。



b. マレーシア音楽代表作 「浪花一朵朵」

海辺の砂浜で波しぶきが飛び散る様子、人々が楽しんでいる姿を現す。夏の風味を十分味わうことができる歌。



c. 日本音楽代表作 「ARASHI」

歌手は国民的アイドルグループ嵐。嵐の所属事務所は[ジャニーズ事務所](#)。1999年9月15

日、[ハワイ州](#)ホノルル沖の[クルーズ客船](#)にてデビュー記者会見。結成、およびCDデビューが発表された。11月3日、『[A・RA・SHI](#)』でCDデビュー。オリコンシングルランキングにおいて初の週間1位を獲得した。



d. スウェーデン音楽代表作 「Timoteij - Kom」

Timoteij (ティモテイ) というグループの「KOM (コム)」という曲。

スウェーデン語の歌を聞いてみたい人は是非。可愛い女の子の4人グループで各自がバイオリンとかアコーディオンなど楽器を弾いて歌います。「夏がくるよ～」みたいな歌詞で、スウェーデン語で歌ってるのが良いと思う。



d. 韓国音楽代表作「**Shake it**」

歌手名は「チョルサ」です。crazy のダンス音楽、楽しい曲です。



4. おわりに

人間の言語にはそれぞれ、独自の音韻体系、強弱や高低のアクセント、リズムが備わっています。外国語の会話を聞いていると、言語としては理解できなくても、音楽の響きに思わず聞き入ってしまうことがあります。

今回は世界の歌声のごく一部をご紹介しますにすぎません。人間が声を使っていかにさまざまな音の表現を作りだし、伝えてきたか、その発想の豊かさには驚くばかりです。それらの声は、中には非常に奇妙に思えるものもありますが、人々の生活や信仰との深い関わりから生じているという意味で、ある種の必然性をもっています。従って声の良さ、美しさといった問題も、その人々がどのように生き、どのような声を使って暮らしているか、ということと無関係ではありません。なぜその声は美しいのか、なぜその声を必要とするのか、という問いを、自分たちの音楽を含むさまざまな声の音楽に対して、投げかけてみてはどうでしょうか。そのことは、文化として音楽をとらえる一つの方法になると思います。

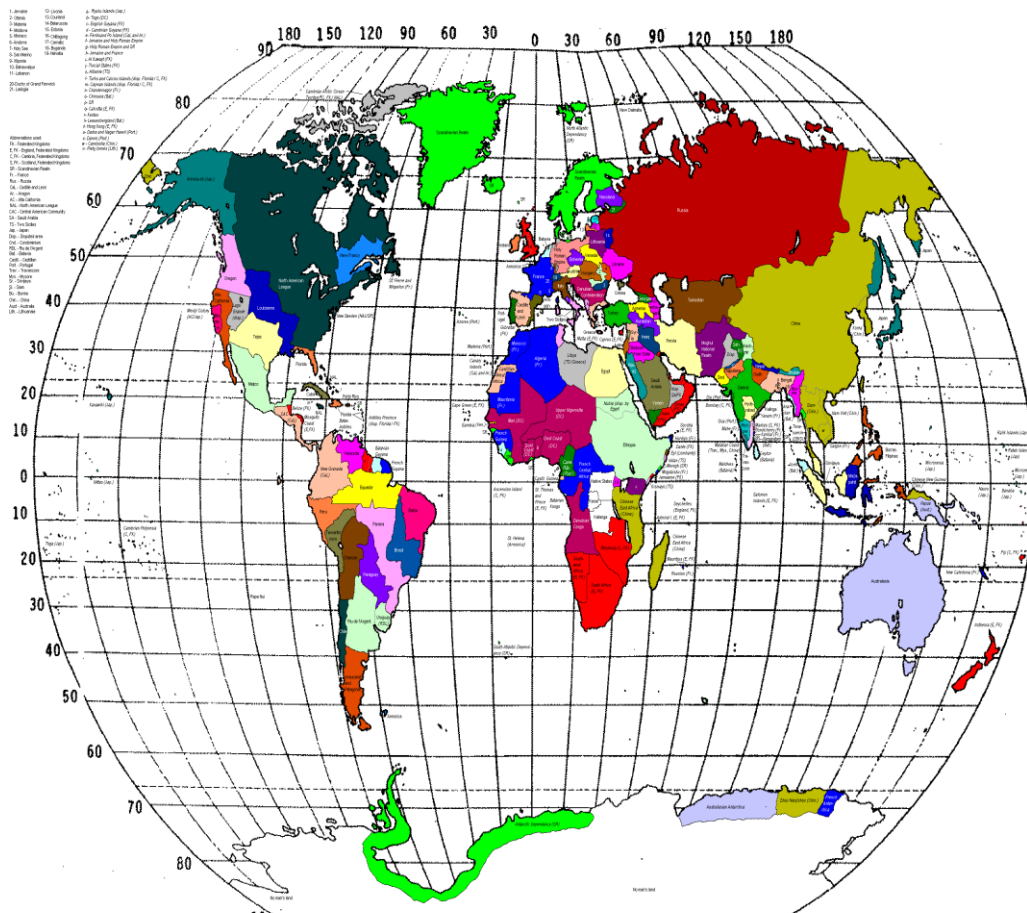
どうぞ自分の声をまず好きになってください。そして、歌を歌う自分を好きになってください。それから、他の人と声を合わせて美しいその響きを楽しみましょう。きっと、人と人との和が自然に生まれてくることと思います。

(文責：童琳)

6班 世界の昔話

ダニエル (マレーシア)、ヘレナ (クロアチア)、ヴァネッサ (ボスニア・ヘルツェゴビナ)、トミスラバ (セルビア)、パトリック (コンゴ)、カレン (メキシコ)、ヴィオレッタ (ペルー)、マイケル (アメリカ)、ジャドック (フィリピン)、高リン (中国)、小池和裕

Tales Across the World



*A Compilation of Summarized Presentations
Summer Camp 2011 Output of the English Group*

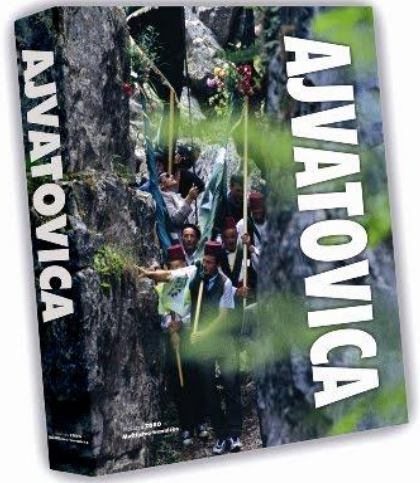


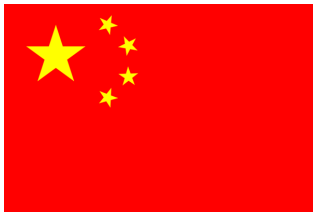
Ajvatovica

Vanesa Dukic

BOSNIA AND HERZEGOVINA

- **Ajvatovica** is the largest Islamic traditional, religious and cultural event in Europe. It is located near Prusac in Bosnia and Herzegovina. It was named after Ajvaz-dedo who was a devout Muslim working to enlighten the population and achieve progress in the area.
- According to legend, before the arrival of Ajvaz-dedo, Prusac had a water supply problem. However, he found a powerful spring of water near Prusac. The spring had been shut off by a rock 74 meters long and 30 meters wide, which obstructed the construction of a running water system. Ajvaz-dedo spent 40 days praying to Allah to split the rock. On the fortieth morning, following his prayers, Ajvaz-dedo dreamt that two white rams collided and split the rock.
- When he awoke, he saw the rock split in half. Wooden pipes were placed along the newly formed canyon to take water into Prusac. Seeing it as a sign of God's miracle and blessing, people began going on pilgrimages to the place where the rock had split.





How Rat Ranks the First in Chinese Zodiac

Gao Lun

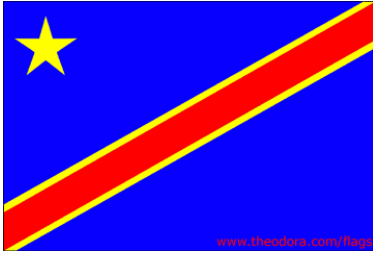
CHINA

Once upon a time, the Jade Emperor thought it'd be better to assign an animal to each year so people could more easily remember the Zodiac cycle. So he decided to hold a meeting with all the animals and he would choose 12 of them to be the Zodiac animals. At that time, Cat and Rat were close friends. They were very excited about the meeting and decided to go early. However, Cat was a sleepyhead, who ever woke up before noon. On the night before the meeting, he asked Rat to wake him early the next morning. When morning came, Rat got up early and quietly left for the meeting alone. When Cat finally woke up in afternoon, he knew it was too late. Feeling betrayed, he vowed that henceforth Rat would be his enemy. That is probably the main reason Cats are always chasing after Rats.



To get to the meeting called by the Jade Emperor, animals had to cross a river to reach the meeting place. Rat was the worst swimmers in the animal kingdom, but he was quite intelligent, deciding that the best and fastest way to cross the river was to hop on the back of Ox, who, being naive and good-natured, agreed to carry him across. As Ox neared the other side of the river, Rat jumped ahead and reached the shore first. So he claimed first place in the competition and zodiac.





Democratic Republic of **Congo**

“ *DEISINGO* ”

Patrick Behuhuma

DEISINGO", in Congo, was a kind of animal-human being living in Congolese forests, which (or who) was protecting the nature and the wild life, by killing hunters who were going to like to destroy the fauna.

I don't know how many of them had existed, but it was in my native region that I learned about it. Maybe the legend could be found somewhere else in Congo, because the country of Congo is very large (2.345.000 km²).

So, DEISINGO could kill anyone among villagers who would like to hunt animals, because it was like hurting it or him.





Legend of the Miraculous

Crucifix

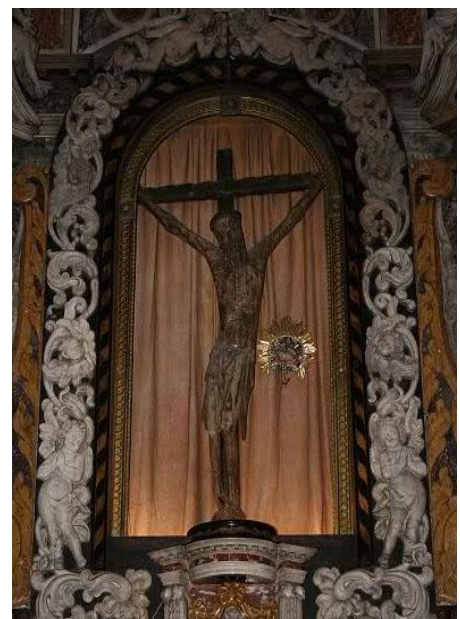
Helena Milijevic

CROATIA

The famous legend was bounded with the miracle crucifixion of St. Vitus which is located in the Cathedral, and tells how Peter Loncarevic has played cards with two of his friends in front of the Church of St. Vitus, where the crucifixion for the public reverence was located. The play hasn't brought him luck, so he had reached for a stone very angry and thrown it on the left side of the crucifixion. All present were horrified because from the stricken statue came blood, and under the feet of the blasphemer the earth had opened and swallowed him leaving his pagan arm on the surface.

The Governor Baron Rauber who governed in that time, has ordered to burn the hand on the square in public, and as a remembrance to the accident, he gave orders to make a brazen arm and put it down in front of the crucifixion.

The stone which was thrown by the blasphemer lies still on the left side of the crucifixion with the inscription "Huis lapidis ictu percussus est Crucifixus! Anno Domini 1227" (The crucified was hit with this stone in 1227).





MEXICO

The Rabbit on the Moon

An Aztec Legend

Karen Gonzales

Long time ago, when Aztecs arrived to the valley of Mexico they found the ruins of Tehotihuacan, and they were so amazed at its greatness that they thought it was a city of gods and hence it was the place where everything was created.

The sun we have now, according to the Aztecs is the 5th sun (the sun of movement). The gods got together in Tehotihuacan to decide the best way to create the sun, and also the moon to have balance. The 4 creator gods were summoned and greeted each other:

“- I am Quetzalcoatl, the serpent of beautiful feathers, god of fertility “

“- I am Huitzilopochtli, hummingbird of the south, god of war”

“-I am Tezcatlipoca, smoking mirror, the one who gives and takes wealth”

“-I am Xipetotec, the skinned god, god of spring and renewal of flora”

After the greetings they asked “who will sacrifice to be the new sun?” The other minor gods turned around and looked at each other, the gods then said “ the sacrifice of one will not be enough, someone must illuminate in the darkness” “ who will give his life to become the 5th sun?” a very handsome and arrogant god stepped forward saying “I, Tecuciztecatl, will offer myself in sacrifice for I come from noble birth, there is no one better than me to shine through the sky” the gods nodded in disapproval for he was so arrogant.

The other minor gods turned around and looked at each other and then said “ the sacrifice of one will not be enough, someone must illuminate in the darkness” “ who will give his life to

become the 5th sun?" A very handsome and arrogant god stepped forward saying "I, Tecuciztecatl, will offer myself in sacrifice for I come from noble birth, there is no one better than me to shine through the sky" the gods nodded in disapproval for he was so arrogant. Huitzilopochtli then sentenced, "agreed, you will become the sun but who will become the moon?" all the minor gods looked around and saw at the most hideous god, the god of sickness on the skin, he stepped forward too and said " Though I do not consider myself worthy I accept with honor your command". That being said the 4 gods prepared the sanctuary to create a fantastic bonfire while the two selected ones prepared themselves for the sacrifice, the moment came for the two to sacrifice and Huitzilopochtli ordered Tecuciztecatl to jump first into the fire for he would become the sun, however he got scared and backed down, turned himself into a rabbit and tried to hide behind some plants. The Gods were really disappointed and so they said " it is your turn Nanahuatzin" Nanahuatzin hesitated too but he recovered his temper and got into the fire without fear, when Tecuciztecatl saw that he got angry because such an ugly god took his place, so after the fire went down, the sun was taken to the skies by an eagle, it was the first sunrise of the 5th sun. However Tecuciztecatl also became a sun and rose up into the sky, the heat of two suns was so strong that it killed everything alive, Ehecatl the god of wind claimed " you Tecuciztecatl will be punished by me for being a coward and back down from your sacrifice" and so Ehecatl took his bow and arrow and shot at the second sun killing its shine, " and to remind you of your sin you will have forever the sign of the rabbit on your face, and will always be following the sun" he pronounced. And so the moon and the sun were created, however the sun did not move, it was drying everything, the gods uttered " Tonatihu you need to move so there will be day and night" and the sun answered " I demand the sacrifice of all gods to move" and so they did and the sun started to move and day and night were born.





PERU

Legend of Potato

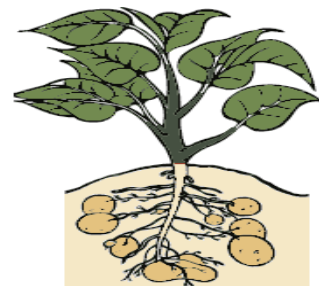
Violeta Paredes-Tenorio

Long time ago, two indian tribes lived in the Mountain of Peru.

One tribe (Incas) was warlike, the other (Aymara) was peace loving. One day, the incas conquered the Aymaras and make them their slaves.

The god pitied the Aymaras and gave them a magic plant: potato. The Aymaras cultivated the potato and then cooked it. After that, their strength renewed with potato power, and the Aymaras could defeat the Incas.

Just as the God had promised, the wild potato had cleverly hidden its goodness underground so that the Incas did not find the precious fruit.





“Legend of Kansilay”



PHILIPPINES

Sukie Jadoc

It is said that in the days of the datus and rajahs, there once lived a princess named Kansilay. She was loved by the villagers because she was kind to everyone.

An attack on the settlement by pirates was thwarted when the princess bravely led the people in the village's defense. The fight was furious and the princess fought like a seasoned warrior. Murals that used to grace some of the city's public buildings depict her as a fierce fighter wielding a huge *talibong*, a short native single-edged sword. The pirates were routed, but at the cost of the princess' life. Her paramour arrived in time to see her die. In grief, the people lovingly buried her.

To their surprise, a tree grew right over her grave, the first Kansilay tree, named after the brave princess, a final gift to her.

More Kansilay trees grew from that place which later on was called as Silay.

A local legend tells of how Silay City, a city in Western Visayas, Philippines, got its name.





DEVIL'S TOWN

Tomislava Dordevic

SERBIA

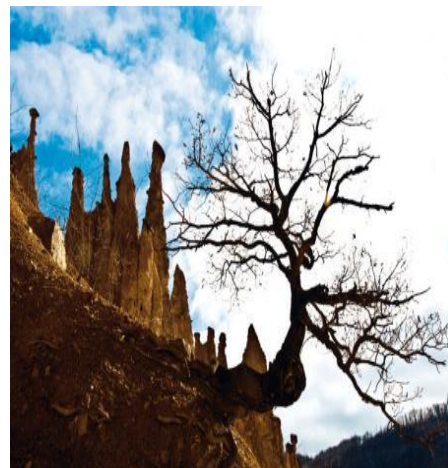
The Legend Goes...

Many legends have been created to explain the origin of "Devil's Town".

The most popular says that long time ago, this area was inhabited by humble, calm and religious people. This annoyed the devil so he made Devil's Water to make them forget their lineage. After drinking this water, inhabitants arranged a marriage between a brother and a sister.

The devil's plan was interrupted by the fairy who, according to the legend, still keeps this area under her protection.

The bride and the groom were on their way to church when the fairy started praying and God heard her prayer and joined the earth with the sky, then the cold wind blew and the wedding guests were turned into the stone.



Science and Facts...

Davolja Varoš (Serbian Cyrillic: **Ђавоља варош**, meaning "Devil's Town") is a peculiar rock formation located in southern Serbia. It features 202 exotic formations created by strong erosion of the soil that was scene of intense volcanic activity millions of years ago.

There are also two natural springs: *Davolja voda* (*Devil's Water*), with extremely acidic water (pH 1.5), and *Crveno vrelo* (*Red Well*).

Davolja Varoš was a nominee in the *New Seven Wonders of Nature* campaign.



Tall Tales in America

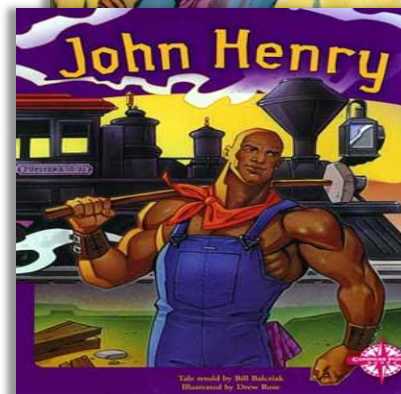
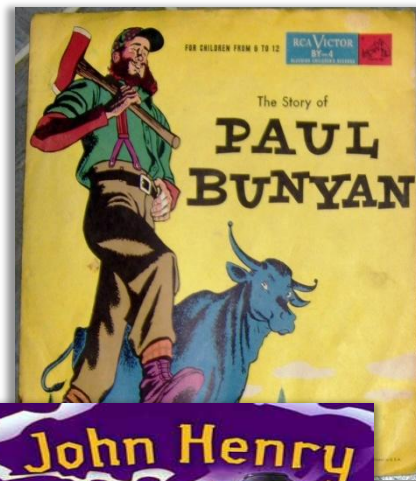
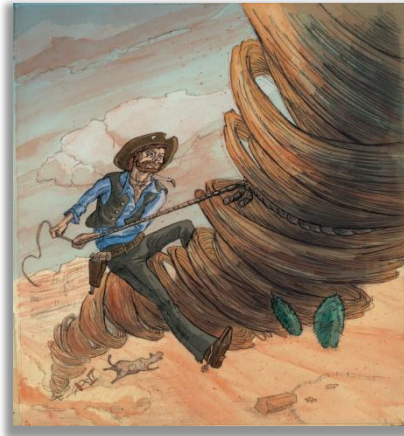
Michael Lynch

UNITED STATES OF AMERICA

A tall tale is a story with **unbelievable** elements, related as if it were true and factual. Sometimes these stories are exaggerations of actual events, While other tall tales are completely fictional tales set in a familiar, or iconic setting (such as the American Old). Tall tales are often told with the narrator seeming to have been a part of the story.

They are usually humorous or good-natured. The line between myth and tall tale is distinguished primarily by the age of the story; many myths exaggerate the exploits of their heroes, but in tall tales the exaggeration looms large, to the extent of becoming the whole of the story.

Some American Folk Icons



● アンケート集計結果

2011 夏国際交流合宿にご参加有り難うございました。今後の合宿の発展のために、次の質問にお答えください。

1. 合宿の日程はどうでしたか？ よかった 29 普通 11 よくない。

2. 合宿の場所はどうでしたか？ よかった 37 普通 3 よくない。

(コメント：おばちゃんがやさしい／富士山がきれいだった／とてもきれいでした！見て楽しめました／バスの移動時間がちょうどいいと思う／2日間とも晴れて良かったです／富士山が目の前にあって、すごく気持ちよい 2／行ったことのない場所で新鮮！／都会にない良さを楽しめた)

3. バス内活動はどうでしたか？ よかった 19 普通 18 よくない 4

(コメント：ゲームをやる時間が少ない 2／みんな疲れてるようだった／ねむかったです 2／みんな楽しめたかどうか不安でした／自己紹介に時間取られて、残念だった／クイズしかやってないような…しかも寝た後だったのでちょっとやる気なかつたです／)

4. ネイチャーガイドツアーはどうでしたか？ よかった 35 普通 5 よくない。

(コメント：色々説明してくれてよかった／ガイドさんが親切／洞窟が涼しかった 2。冒険してみたい／コウモリ穴ツアーよかったです 2／おばあさんの話はすごく深くて、勉強になった／話が面白かったです／久しぶりの運動すごく疲れた)

5. いやしの里根場はどうでしたか？ よかった 33 普通 7 よくない。

(コメント：自然に浴びたようでよかった／時間が足りなかった 3／お茶がおいしかった。ニンジャ・パトリック (笑)／色々な店があつて面白いです／色んなところが見れてよかったです／ゆったりできた／色々伝統的な日本のものが見学できすごくよかった／雰囲気等気に入った／やぎがかわいかった)

6. 宿はどうでしたか？(施設・食事など) よかった 32 普通 8 よくない。

(コメント：食事がおいしかった 4／おばちゃんが親切だ。部屋の飾り物が大好き。食べ物まあまあ／食事は普通、でもおばちゃんが好き／おばさんがやさしかった 2／飾り物がよかった 2／きれいで、食事もおいしくて、宿の方も良い人たちでよかった！／お風呂が少し不便。入り口の所にすぐものを置くところがあるからだれかがドアを開けたとき困る／久しぶりに健康的な 4食ができた／個室バスルームがほしい／)

7. 交流会はどうでしたか？ よかった 31 普通 7 よくない 1

(コメント：爆笑しました (伝言ゲーム) 2／ゲームの時間が足りない 2／ビールがぬるかった／ダンスすてきでした／ゲームが盛り上がった 2／ゲームが楽しかった／仲良くなれた／面白くない。ゲームで勝っても商品もない)

8. 班ごとの発表はどうでしたか？ よかった 32 普通 7 よくない 1

(コメント：私のグループの通訳がやばくてごめん／よく準備していた／音楽のグループがよかった 2／みんなおもしろかったです 2／他の班の発表が楽しかった／床にすわる

スタイルもいいなと思った／何で旅行に来たのに発表をしなければならないんですか。
その時間にもっと色々なところに行ったらもっといいと思います／皆すごく準備した／
グループ活動時間が足りなかった／最後の方は、みんな眠そうでグタグタだったけど、
ためになったし楽しかった)

9. 忍野八海はどうでしたか？ よかった 26 普通 11 よくない 2

(コメント：時間が足りなかった／すごくあつかった／たのしかったです／今回は 2 回
目だけど、違う人と一緒に来たから雰囲気も良かった／込んでいた／バニラソフトクリー
ムがおいしかった／ひかれなかった)

10. なにかスタッフに要望がありますか。

おつかれさま、特にダニエル 2／おつかれさま／通訳が大変すぎ

11. 次も合宿に参加したいですか？

はい 30 いいえ わからない 9

12. 次に合宿をやるとしたら、いつどこがいいですか。

冬休み・沖縄 4。春・京都。秋・北海道／秋・京都／相模湖／夏・湘南／海の近く 2／9
月末～10月に紅葉とか見たい。夏なら海の方にも行きたい／冬 2／北海道の雪祭り 3／夏
以外なら秋／箱根 2

13. その他、自由に感想をお書きください。

みんな+おばあちゃん、どうもお疲れさまでした／2泊3日にしてほしい／カラオケが歌
えなくて残念でした／初めての合宿でしたが、とっても楽しかったです。ありがとうござ
います／初合宿楽しかったです。また行きたいです／おもしろかったです／楽しかった！
いっぱい運動した気がする／活動がタイトだった／色々な国の人とお話しできてとて
も楽しかったです。／留学生と楽しく話せてよかった。ほうとうおいしかった／いつもとは
違う人たちと仲良くできてとてもよい経験になりました／1泊2日は短い

● スタッフの感想

初めての国際交流合宿、初めてのスタッフ、初めてばかりの合宿でしたが、日本人学生
を始め留学生のみなさんと一緒に楽しい二日間を過ごすことができました。初対面の方
や、お話ししたことのない方たちばかりで、初めは緊張していましたが、話しかけたり話
しかけられたり、いろいろな方と交流することができました。普段は、国際交流カフェ
でしか留学生の方たちと交流できませんでしたが、合宿で多くの留学生の方たちと交流
できて本当に嬉しくて、楽しかったです。また次回もスタッフとして合宿に参加できる
といいな、と思っています。二日間、本当に楽しかったです。ありがとうございました。

(三家本真由)